
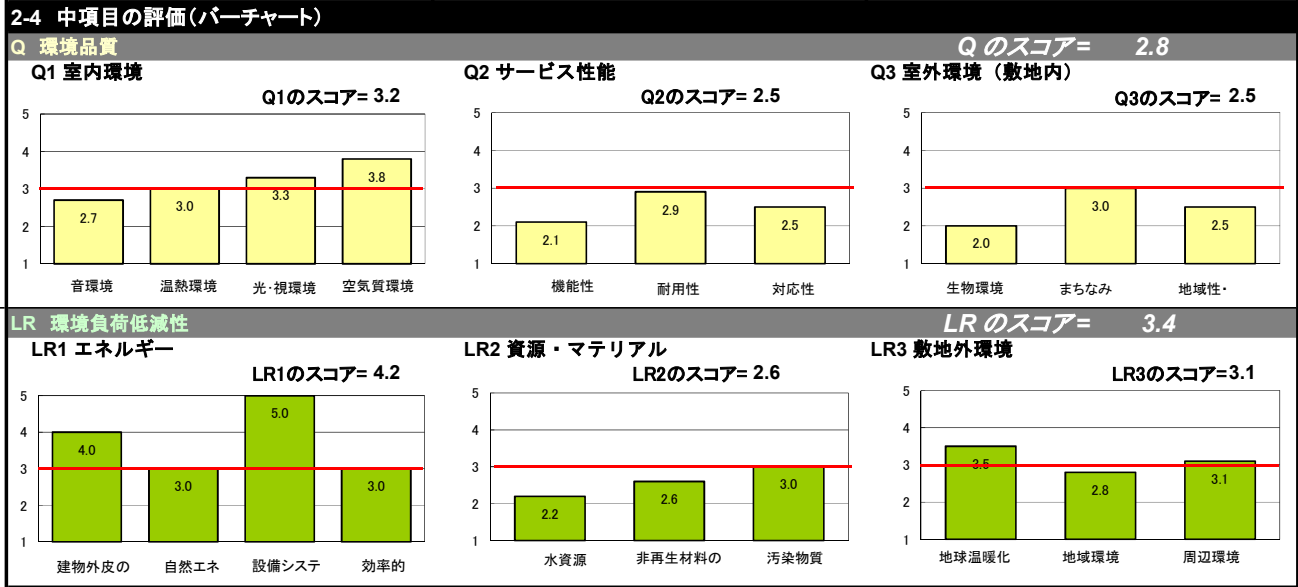
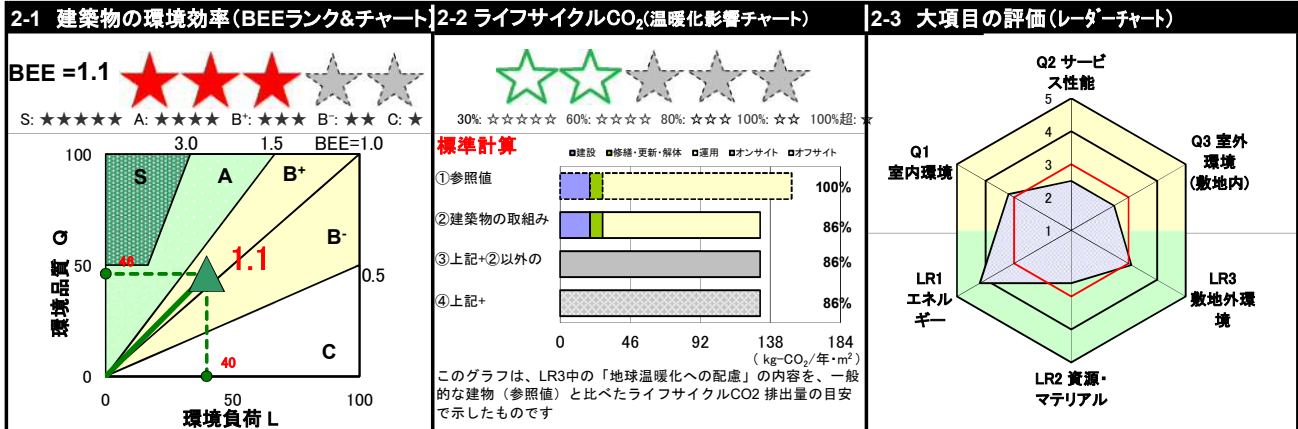


CASBEE[®]さいたま2016年版 | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

■ 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)浦和寮(単身者用)建替え計	階数	地上5F
建設地	埼玉県さいたま市南区鹿手袋4丁目	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	76 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2018年4月13日
敷地面積	1,179 m ²	作成者	大成ユーレック株式会社 平野 健吾
建築面積	624 m ²	確認日	2018年4月13日
延床面積	2,386 m ²	確認者	大成ユーレック株式会社 平野 健吾

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
緑地を施したウッドデッキテラスの設置、敷地境界線際の植栽設置など、良好な緑地環境に配慮している。また、省エネルギーで快適な室内環境を整えるよう努めている。		-
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
F☆☆☆☆の内装建材を採用し、室内空気環境に配慮している。	設備は耐用年数の長い配管を採用して建物の長寿命化に配慮している。	敷地内には適切に緑地を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画としている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
潜熱回収型給湯器、LED照明設備を採用することで省エネルギーに配慮している。	PS,天井内配管等により設備との錯綜を回避し、部材の再利用の可能性を高めている。	ライフサイクルCO ₂ 排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される